

第33回（令和6年度）看護研究実践報告会 を開催いたしました。

R6.11.9（土）14時～16時

秋晴れの11/9 総勢70名を超える支部会員の参加にて、活気ある報告会が開催されました。看護師・助産師・介護福祉士による発表演題は10題でした。現在の医療現場において、どの施設でも課題であり、取り組みが必要な素晴らしい内容ばかりで、良い共有の場になったと感じられるものでした。

質疑応答も活発に行われました。自部署での参考になる発表である証拠でした。



帝京科学大学医療科学部看護学科基礎看護学講師の松田先生より、ガイドラインは重要である事や、発表にて他に広める大切さについてお話をいただきました。

★永松担当責任者からも熱い思いをコメントされました。
4年間という長い間、大役お疲れ様でした。今後引継ぎをする役員も今回のような報告会を継続してまいります。

